

平成30年度 北陸地方整備局

第3回事業評価監視委員会 議事録（概要）

1. 日 時：平成30年12月26日（水）9：30～11：35

2. 場 所：北陸地方整備局 4階 共用会議室
金沢河川国道事務所 2階 会議室

3. 出席者：委員）川村委員長、阿部委員、飯野委員、池本委員、犬飼委員、小熊委員、小林委員、
権田委員
整備局）次長、総務部長、企画部長、建政部長、河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長、
用地部長 他

4. 審 議

（1）再評価

<重点審議>

1) 地すべり対策事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

○甚之助谷地区直轄地すべり対策事業

■意見

・地すべりは非常に不確定性があるため、今後も事業を進めながら効果を確認しつつ、状況に応じてより効果的な対策の検討を進めていただきたい。

2) 港湾事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

○輪島港輪島崎地区避難港整備事業

■意見

・既に90%程進捗しており、必要な事業である。

<一括審議>

1) 河川事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

○常願寺川直轄河川改修事業

■意見

・洪水氾濫の防止に対して大きな効果を発揮する重要な事業であり、事業の効果についても引き続き丁寧な説明に努めていただきたい。

2) 道路事業の再評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、北陸地方整備局の再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。

○国道8号小松バイパス

■意見

・特になし。

(2) 事後評価

1) 道路事業の事後評価

■対応方針（原案）について

以下の事業について審議した結果、今後の事業評価および改善措置の必要性、事業評価手法の見直しの必要性はないものと判断する。

○国道7号万代橋下流橋

■意見

・今後もETC2.0や世帯数・人口等の各種データを活用し、事業の効果を表現していただきたい。

以 上